

自ら学ぶ生徒  
正しく行動する生徒  
健康でたくましい生徒

令和元年11月29日(金)発行  
【発行責任者】郡山市立富田中学校長 熊坂 洋

# 手をたずさえて

## 富中生頑張る!! 運動、文化両面での活躍光る!



### 第31回ふくしま駅伝 伊東さん力走!!

11月17日(日)に行われた第31回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会。郡山市の代表として第15区に出場した3年伊東舞莉彩さんは、2位をキープする力走を見せてくれました。天気は晴天でしたが、風が強くアップダウンのある難しいコースでした。アンカー区間の前という重要な区間で、強豪が揃う中、区間6位の記録は立派でした。郡山市が目標としていた1位には届かなかったものの、選手達は1位の福島市に食らいつく粘り強い走りを見せてくれました。悔いが残る走りだったと伊東さんは言っていますが、2年連続で市の代表としてこの大会に出場したことに自信と誇りをもってほしいと思います。そして、高校では陸上競技に本格的に取り組むと決めた伊東さん。高校での活躍を心から祈っています。駅伝、お疲れ様でした!



2年連続で「ふくしま駅伝」に出場し、走らせていただくというとても良い経験をさせていただきました。去年は9区。今年は15区というアンカーに襷を繋ぐ大事な区間を走らせていただきました。厳しい選考会を勝ち抜き、そして仲間と切磋琢磨し合いながら辛い練習にも耐えて頑張りました。みんなで声をかけ合いながら、お互いを高め合い、数少ない練習を大切に充実したものに

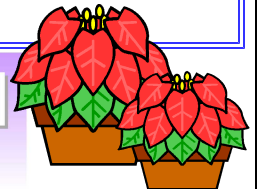
できました。監督やコーチの方々、家族、友達からたくさんのアドバイスや応援のメッセージをいただき、改めて頑張ろうと強く思いました。本番当日は風があり、レース中はずっと向かい風で自分の思い通り、納得のいく走りが全然できず、とても悔しかったです。チームとしても、ずっと目標にしていた“総合優勝をし、監督を県庁で胴上げする!”が達成できなかったのが悔しかったです。しかし、16区間全部で無事襷を繋ぐことができたことは嬉しかったです。

2年連続で「ふくしま駅伝」に出場して、一緒に競い合った仲間、いつも支えてくれた家族、応援してくれた先生、大会当日まで熱心に指導して下さった監督やコーチ、これらの人々には感謝しかありません。この大会で学んだこと、そして悔しさをバネに、これからのひとつひとつの練習を大事にし努力していきたいです。(3年 伊東舞莉彩)



伊東さんが走った15区のラスト1km地点。長い坂が続きます

### 「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」 絆部門 最優秀賞受賞 3年村上さん



平成14年度から実施され、福島県教育委員会が主催する、子どもと大人・子どもと子どもがペアで作る五・七・五『ふくしまを十七文字で奏でよう絆ふれあい支援事業』絆部門で3年村上沙由さんとお母様の作品が見事最高賞の“最優秀賞”に輝きました。今の時代を象徴しており、SNSを通じた親子関係が十七文字に詰まってい

ごめんなさい 素直に言えず メールする (村上さん)  
メールでは 素直な娘に 苦笑い (お母様)

て、読むと心がほっこりする作品です。親子で作品をつくり応募すること自体、

村上さんとお母様の温かい親子関係をうかがうことができます。おめでとうございます!

# 東日本大震災復興支援事業 『わたしの青少年赤十字 詩・100文字提案』 “日本赤十字社長賞”受賞！ 1年志田さん

『わたしの青少年赤十字 詩・100文字提案』は日本赤十字社福島県支部が主催して2006年度から実施され、2011年度からは東日本大震災・福島第一原発事故を体験して「考えたこと」、「実行したこと、実行しようとしたこと」を詩・100文字に表現した作品を募集しています。これに応募した1年志田柚季さんが見事に最高賞の“日本赤十字社長賞”を受賞しました。志田さんによると、この作品は朝の短い時間の中でできたそうです。飾らない平易な言葉の連続ですが、日常と表現の妙を強く感じます。志田さんが澄んだ感性の持ち主であることがよくわかります。実は志田さんは小学校時から作品応募を続け、賞も得ています。最高賞受賞、本当におめでとうございます！



私は、吹奏楽部  
練習に励む三階の教室

窓から、抜けるような青空を見る

西会津のキャンプ場や磐梯山のゲレンデの空

楽しい思い出が蘇る

この美しい福島空を感じ、

今日も私は、

クラリネットの音色に思いをのせる



## 平和の大切さ・命の尊さ 訴える！

郡山市中学生長崎派遣事業報告会 開催

11月23日（土）には、郡山市役所において「郡山市中学生長崎派遣事業報告会」が行われました。被爆体験伝承者講話に続き、派遣団員による研修報告がありました。本校から参加した2年丸野和士君をはじめとする派遣団員は、戦争の悲惨さと平和の尊さについてそれぞれの思いを発表しました。また、今年の派遣団員の指導を行った本校大竹英樹先生も生徒をサポートしていました。

長崎平和公園の中で特に印象に残ったのが「平和祈念像」である。この特徴的なポーズには深い意味がある。天を指した右手は原爆の脅威を、水平に伸びた左手は世界平和を、横にした脚は原爆落下直後の長崎の静けさを、立てた脚は救われた命を、優しく閉じた瞼は戦争と原爆犠牲者の冥福を祈る姿を、それぞれが表していた。この像から私は、原爆体験者からの平和への強い思いを感じることができた。



を祈る姿を、それぞれが表していた。この像から私は、原爆体験者からの平和への強い思いを感じることができた。

(丸野和士)



プレゼンする丸野君



指導者の大竹先生と共に

## お薦めの本の良さ、伝わりました！

11月24日（日）には、中央図書館視聴覚ホールにおいて、郡山市読書活動推進事業読書フォーラム「ビブリオバトル」が開催されました。ビブリオバトルとは、みんなで集まって5分で本を紹介し、聴衆が読みたくなった本を投票して決定する書評会です。市内の小学生5名、中学生5名がそれぞれお薦めの本を紹介しました。本校からは、2年星海翔君が出演し、「天気の子」をわかりやすく紹介してくれました。また、聴衆からの質問にも堂々と答えていました。



「天気の子」を紹介する星君